

令和元年度 第2回安曇野市図書館協議会 会議概要

1	審議会名	令和元年度 第2回安曇野市図書館協議会
2	日 時	令和元年10月10日 午後1時30分から午後3時30分まで
3	会 場	安曇野市豊科交流学習センター 多目的交流ホール
4	出席者	三澤会長、別府副会長、濱野委員、初谷委員、田守委員、古川委員、樋口委員、小田委員、鈴木委員
5	市側出席者	西村教育部長、那須野文化課長、遠藤豊科図書館長、金子三郷図書館長、百瀬堀金図書館長、伊藤明科図書館長、高嶋中央図書館長、奈良澤係長、中山主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	1人
8	会議概要作成年月日	令和元年10月12日

○会議の概要

- 1 開会 (那須野課長)
- 2 あいさつ (三澤会長・西村教育部長)
- 3 協議・説明
 - (1) 令和元年度 安曇野市図書館事業進捗状況について
 - (2) 令和2年度 安曇野市図書館事業計画について
 - (3) その他
- 4 その他
- 5 閉会 (那須野課長)

3 協議・説明概要

- (1) 令和元年度 安曇野市図書館事業進捗状況について

事務局より説明。

議 長 それでは、質問・意見等ある方は、お出しいただきたい。

委 員 中学校の職場体験の受け入れについて、37名がお世話になった。2日間という日程の中で、様々な業務を経験させていただいた。生徒たちは、図書館に興味を持ったり、将来の職業として考える者もいた。

資料には無いが、学校図書館司書からは、配本について、的確な選書をし貸出期間についても柔軟な対応をいただき、学習環境の充実につながっているという話があった。

教育会の主催で開催している図書館研究協議会では、事前準備から協力いただき、穂高東中学校で充実した研究授業ができた。

議 長 他にあればお出しいただきたい。

委 員 講演会や講座にキャンセルが出た旨記載があるが、具体的には何割くらいなのか？また、どのような対策をしたかお聞きしたい。

穂高商業高校との連携事業の記載があるが、豊科地区にある2校とはどうなのか。

事務局 学校からの話は、図書館職員の励みになりありがたい。

講演会のキャンセルについては、内部で対策として様々な意見が出されたが、有効な手段をとることとはできなかった。キャンセルの割合としてはそんなに大きな数字ではなかった。講座については、親子の対象であったので、急な予定が入ることもありキャンセルが出たが、開催当日までの対応で概ね定員に達し開催することができた。

穂高商業高校との連携事業については、市として穂高商業高校との連携を進めている中での一つとして、今回の図書館事業を計画したものであり、他の高校と事業を組む予定は現在のところ無い。

委 員 明科にも高校があり、連携できればと考えているが、この事業での高校生の様子を聞きたい。

事務局 女子高校生4名で参加している。書店での選書やYAコーナーの書架の整備など楽しく取り組んでいる。

議 長 職場体験の関係で、生徒側からは好評の話があったが、受け入れる側としてはどうか。

事務局 とてもまじめに一生懸命取り組んでくれる。図書館には様々な仕事があることを学んでもらえて、良い体験になっているのではないかな。

委 員 講演会のキャンセルの件だが、抽選で席を決めているという事なので、キャンセル待ちも抽選で用意しておけばどうか。

事務局 キャンセル待ちは用意している。今回の講演会についても、予めキャンセルの連絡をいただいた分については、キャンセル待ちの方に連絡を取り対応をした。実際には、連絡が無く、当日来場されない方が居るという事である。

委 員 講演会の関係で、昨年の報告では60才以上の高齢の方が多かったということであるが、今回の講演会は年齢層的にはどうであったか。

事務局 数値的には出してないが、割合はやはり高齢の方が多かった。以前の講演会に比べれば若い方が来場されていたように感じた。

委 員 老人施設への配本は、施設に居る方たちの好みで選んでいるのか、図書館で決めているのか。ボランティアをしていて感じるが、施設に居る方たちは、自分で移動が困難な方たちなので、なかなか好みの本を手にとることができない。しかし、施設に居る方たちが本を通じて交流していくということが大切なことと感じるので、配本に配慮をいただきたい。

事務局 配本サービスは、学校・児童クラブ・認定こども園・デイサービスなどの福祉施設等を対象に行っているが、それぞれニーズをお聞きして配本している。その他にも、各種イベントへ参加するおでかけ図書館や出前の読み聞かせがあるが、イベントに合わせた本や読み聞かせ先の施設の要望に沿った内容の資料を用意して行くようにしている。

議長 本年度の事業の進捗状況については終わりとさせていただきます。

それでは次に、令和2年度の事業計画についてお願いしたい。

(2) 令和2年度 安曇野市図書館事業計画について

議長 事務局より令和2年度の事業計画について説明をお願いしたい。

事務局より全体事業について、各館館長より各館事業について説明。

議長 説明をいただいたが、個々の事業というよりも図書館事業全般というような視点で意見ををお願いしたい。

委員 図書館の魅力は蔵書にあると考える。資料の中に「図書館資料収集要綱」という記載があり、この要綱に従って収集されていると思う。また、「第2次図書館基本計画」では、若い世代の利用促進が課題とされているので、蔵書の割合を貸し出しの状況も含めて教えてほしい。

委員 資料収集の関連で、新着のコーナーにある本を見ると、文学系や歴史関係の本が多くあるが、社会関係の政治・経済というような著書が少ないように感じる。また、書棚の方を見て歩いても、社会関係の本は古いものが多いように思うので、関係書籍の充実を要望する。

図書館事業のPRのところで、報道機関への対応が記載されているが、どのような報道機関にPRしているのか。どんなPR方法が有効なのか考えていく必要があると思う。

委員 資料にある、市内認定子ども園、幼稚園、小学校、中学校、高校との連携という部分であるが、昨年、小学校の社会科の授業で戦争関係の話をさせていただく機会があった。先生からリアリティを持った授業にしたいという依頼で、中央図書館にあった身近な資料を利用した。図書館が持っている資料を上手く使って、子どもたちにリアリティを持ってもらうことが大事と考える。ボランティア活動により、図書館で眠っている資料を活用することにもなる。

事務局 資料の活用についてご意見をいただきありがたい。

資料収集については、「図書館資料収集要綱」で概要を定め、詳細については内規で運用している。ヤング・アダルトの部分であるが、収集内容について基準を決めている。また、全体の収集計画は、各館の特色を出すように配慮している。

年代別の利用状況については、手持ちに資料が無いので後日とさせていただきたい。

資料の収集計画では、分類別に収集割合が定められており、社会関係の資料についてもその割合に沿って収集しているのでご理解をいただきたい。

報道機関等のPRについては、ツイッター・FMあづみ野・新聞・あづみ野テレビなどを利用している。

資料の活用については、読み聞かせボランティアの皆さんのニーズを把握し、選書にも生かしていきたい。

委員 学校の立場で、お願い、提案をしたい。

夏休みが長くなっているので、夏休みに向けて、或いは、夏休み中のイベントの企画をお願いしたい。また、中学生になると、ボランティアに興味を持つようになるので、子ども達が成長できる場として図書館を利用させていただきたい。

委員 図書館サポーターは、中央館以外でもあるか。無いようであれば、子ども達も含めて検討していただきたい。

システムの入替えにあたっては、蔵書の検索機で、高齢の方など操作や表示で分かりにくいところがあるので、改善をお願いしたい。

文書館との連携では、各地域の資料が文書館に集められているように聞いているので、資料の検索ができないか。

事務局 図書館サポーターの活動は中央館のみとなっている。地域館では、人員体制のこともあり、図書館サポーターを受け入れることが難しい状態である。

システムの改善については、ご意見をいただきながら善処していきたい。

文書館資料の検索については、各図書館に内部の端末機ではあるが、検索機能を持った端末が用意されているので、各館の窓口へご相談いただきたい。

事務局 文書館に収蔵されているのは、地域資料・歴史的公文書・行政刊行物である。図書館との関係では、古書の部分で収蔵場所の分担を検討している。8万点に近い資料の中で、公開可能な文書については、市のホームページ中で確認ができるようになっているが、不明なもの等については、文書館へお問い合わせいただきたい。

委員 図書館に設けられているリサイクルコーナーに、本が入っていないことが多いが、利用が終わった人から必要な人へ本を回すということは良い事なので、もっと充実させることはできないか。本を持ち込む方が、直接リサイクルコーナーへ本を置くという事はできないのか。

事務局 ご意見として頂戴し、検討させていただく。

委員 新刊を購入した時に、出版社のアンケートはがきが付いているが、それを何枚かコピーしてお

いて利用者に渡して回答してもらうことにより、いろいろな情報源になるのではないかと。

委員 資料収集について説明をいただいたが、分類比率が今まで購入してあった分の上に新刊を積み上げていくのであれば、不均衡は埋まらないのではないかと。政治経済などで出されている有用な書籍もあるので、分類比率にとらわれることなく柔軟な選書をお願いしたい。

講演会等の開催については、展示ギャラリーの活用と図書館内への展示など併せてPRできるような企画をしてほしい。

委員 次年度の長野県図書館大会について、内容的なものを説明していただきたい。

委員 安曇野市の小中学校に、学校司書は居るか。

議長 全校に居る。

委員 学校司書と図書館司書の交流はあるのか。

事務局 研修会に公共図書館の司書が講師として呼ばれたり、公共図書館の司書が図書館資料を使って学校の授業に参加する学校訪問など、技術的な支援を行ったり、図書館資料の配本などの交流がある。その他にも学校司書が集まる会議などで、児童・生徒に関わるような公共図書館のイベントについてPRをさせていただいている。

委員 どうしたら子どもたちが公共図書館に来るようになるのか、というような子どもたちの読書に関する意見交換をしていけばどうか。

議長 そのことについては、他の機関も含めて考えていけばどうか。

委員 配布した資料で話をさせていただく。

充実した図書館運営には、職員体制が重要になるが、安曇野市の図書館職員は、大多数が非正規職員となっている。これまで培ってきた技術の継承・継続・向上のためにも、図書館職員が安定した身分で、気持ちよく働ける職場となるよう改善を希望する。県の図書館協会が行った非正規職員への実態調査でも、雇用状態が満足できるものではないことが浮き彫りにされているので、正規雇用への転換や雇止め廃止など、来年度から導入される会計年度任用職員の制度に合わせて処遇改善されることを、この図書館協議会で市への要望としてまとめていただきたい。

議長 このことについては、協議会では対応しないという事で前回まとめさせていただいた。もう一度取り上げるといふことになると、状況の変化の説明が必要になると思うが、他の委員でご意見があればお願いしたい。

事務局 他の委員の意見と言っても、制度的なものなので出にくいと思う。事務局から回答させていただきたい。正規雇用への転換については、市では職員定数条例があり、その枠の中で正規職員の雇用をしているので、この定数を超えた正規職員化は困難と判断される。図書館に正規職員の司書が不足

しているという事実は、所管課等で十分認識はさせていただいているところである。非常勤職員の皆さんは、来年導入される会計年度任用職員という制度の中で、処遇を整えていっていただくことになるが、内容については職員課より該当する職員へ説明会を開催するという事で聞いている。次回の図書館協議会では、状況を報告できると思う。

委員 フルタイムの非常勤職員は、処遇が改善されるように聞いているが、図書館司書は、フルタイムの非常勤職員として採用されるのか。また、1年契約という話だが、継続雇用についてはどうなるのか。

事務局 個々の事案については、現在話せることは無い。議会等では、人件費の増加が説明されているので、国の制度に従った見直しが検討されていると思う。継続雇用についても、1年雇用が基本とされており、制度に基づいた運用がなされると考えている。

議長 この事については、各職場でそれぞれ要望があると思うので、今後全体的な調整の中で市の制度が見えてくるのではないかと。

事務局 図書館職員の非正規職員比率が高いという話があったが、これは市として旧5町村の各地域へ図書館整備を進めてきた結果であると考えている。図書館職員の位置づけを低く見ているわけではなく、施設の充実から必然的に生まれた結果だと思う。また、図書館の非常勤職員は、必ずしも司書資格を持っていなくても採用している自治体がある中、安曇野市では、利用者サービスを重視して、全て司書資格を持った方を職員として採用しているのは特徴的なことであるので、ご理解いただきたい。

議長 以上で予定していた協議事項は全て終了したので、協議を閉じさせていただく。

以上